

令和四年十二月六日提出
質問第五五号

北九州港及び関門航路の整備推進に関する質問主意書

提出者
城井
崇

北九州港及び関門航路の整備推進に関する質問主意書

北九州港及び関門航路の整備推進に関して、以下質問する。

一 近年の船舶の大型化に伴う増深・拡幅や維持浚渫は港湾管理者の重要な責務となっている。しかし、既存の浚渫土砂処分場並びに廃棄物処分場の残容量が逼迫していることから、響灘東地区において新処分場の整備が進められている。北九州港廃棄物海面処分場の整備に対して支援をするため、政府において必要な措置を講ずるべきと考える。政府の認識を明らかにされたい。

二 新門司地区において、船舶の大型化に対応し、一層の物流効率化を図るための、新門司地区複合一貫輸送ターミナルの航路、泊地の整備推進のため、政府において必要な措置を講ずるべきと考える。政府の認識を明らかにされたい。

三 社会資本総合整備計画に基づく港湾施設の計画的整備、実施事業に対する支援を行うため、政府において必要な措置を講ずるべきと考える。政府の認識を明らかにされたい。

四 老朽化した港湾施設や海岸保全施設への対応が大きな課題となっている。特に、西海岸地区の岸壁においては、予防保全事業による老朽化対策に合わせて、大規模地震時等においても、住民の避難や物資の緊

急輸送機能を確保するため、耐震化を進めており、早期完成が望まれていることから、政府において必要な措置を講ずるべきと考える。政府の認識を明らかにされたい。

五 関門航路においては、大型船舶が満載喫水で航行できないなど、非効率な輸送形態となっており、我が国の産業活動に大きな影響を与えているとともに、海難事故が引き続き発生しているため、航路十四メートルに向けた早期整備が望まれていることから、政府において必要な措置を講ずるべきと考える。政府の認識を明らかにされたい。

右質問する。